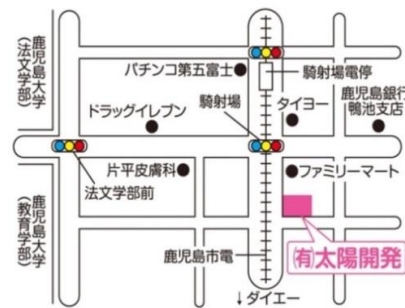


SUNSHINE

第 84号 2015年 4月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市鴨池2丁目1-12 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com



太陽開発 検索 クリック!!

賃貸マンションご紹介します！

当社で管理をさせていただいている賃貸マンション【A&Tビル】を今回、ご紹介させていただきます。
 上荒田町にあるマンションで鹿児島中央駅まで徒歩6分の好立地です!(^^)!
 お部屋の造りは1DK、2LDK、3DKなど単身者からファミリーまで、多様な間取りのお部屋があります。
 徒歩圏内に、コンビニ・ドラッグストア・スーパーもあり、生活しやすく、最近ではマンションの近くの上荒田町に鹿児島市立病院と交通局が移転しましたので、その影響もあって近くにいろんなお店や施設ができてきています。
 当マンションはペット飼育可能で入居者様からも喜ばれており、現在は満室となっております。



A&Tビル



喜代乃家

鹿児島市荒田2丁目74-3
 ◇営業時間◇ 17:00~23:00
 ◇定休日◇ 日曜・祝日



大きな花瓶に
 いっぱいの、真っ白な
 カサランカが、お客様をお
 迎えます!



店内は、カウンター10席・お座敷16席の全26席。お座敷の壁には限定ビールの缶がぎっしり!

今回ご紹介するお店は、ご親戚の方が当社で一戸建てをご購入頂きました。騎射場電停から徒歩1分の「喜代乃家」さんです。
 いつもニコニコ笑顔のご主人は、戦前から昭和30年中頃まで天文館で営業されていた料亭「喜代乃家」のお孫さん。その「喜代乃家」の屋号を引き継ぎ、平成元年7月25日、荒田八幡の六月灯の日に開店しました。今年で27年目を迎えます。
 お客様は常連さんや会社帰りの方が中心で、学生の街にあって大人がゆっくり食べて飲んでくつろげる、貴重な一軒です。
 お料理は、新鮮なお刺身や、串焼きなどお酒と一緒に楽しめる一品料理が中心です。特にオススメは、常連さんが必ず注文する、直径13cmの「喜代乃家特製茶わん蒸し」。下の写真をご参照ください! お酒は、オバマ大統領も堪能した広島の「賀茂鶴」がオススメです。最後に、「喜代乃家」さんでチェックして頂きたいポイントを2つ、ご紹介いたします。
 ◆若々しくお話&お料理上手な奥様は、開店当初から真っ白なエプロン・お洋服を身に着け、毎日真っ白な気持ちでお客様をお迎えています。そしてお花も毎日真っ白なカサランカ!
 ◆アルバイトは鹿大の女子学生! 入学から卒業まで4年間勤め上げ、親御さんと一緒にお店で卒業祝いをしているとのこと。娘のように思っているの、自然にそうなることですが、開店から20年以上続いているこの伝統は、「喜代乃家」さんならだからこそ、のエピソードではないでしょうか!



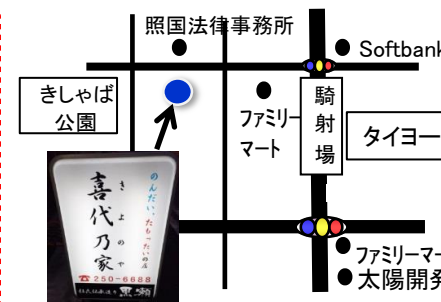
さざえのつぼ焼と海老の焼き物。小鉢はごぼうとこんにゃくの炒め物。



串焼きは、素材が大きく食べごたえあり! 盛り合わせのお刺身は4種盛



特製茶わん蒸し。海老、鶏、白身魚、銀杏などなど具だくさん!!



先日、一泊二日で横浜・鎌倉へ社員旅行に行ってきました。初日は横浜の中華街で宿泊し、夜は横浜スタジアムでジャイアンツと横浜DeNAベイスターズの試合を観戦する予定でしたが、あいにくの雨で試合が中止になりました。当日ジャイアンツは鹿児島実業出身の杉内が先発予定だったので、とても残念でした。
 横浜の中華街は修学旅行生と中国人旅行者が多く、大変賑わっていましたが、以前より食べ放題の新しい店が増え、昔ながらの年季が入った店が少なくなっていたのが、ちょっと気がかりでした。
 二日目は、電車で鎌倉に行き、いくつかのお寺を回り、鎌倉駅より江ノ電に乗り、サザンオールスターズの歌で有名な皆さんもご存知の湘南の海、江ノ島を眺めて帰ってきました。
 鎌倉での最大の目的は、北鎌倉の瑞鹿山円覚寺を訪れることでした。円覚寺は鎌倉後期、北条時宗が元寇の戦没者追悼の為に中国より無学祖元禅師を招いて創建した禅寺で、現在も禅僧が修行しています。北鎌倉駅を降りると、円覚寺の総門があり、中に入ると山すそを利用した広大な敷地の中に山門、方丈、庭園と、一見洗練された感じですが、私の頭の中に浮かんだのは京都のお寺と違い、質実剛健という言葉でした。なぜそのように感じたのかよく考えてみると、現在も毎日禅僧が厳しい修行をする場所であり、又、源頼朝が築いた「日本初の武家政権」である鎌倉幕府時代に創建されたことが原因ではないかと思いました。私も事情が許せば一ヶ月程修行してみたいと感じた程心に響いた円覚寺でした。



アルジャーノンに花束を

ダニエル・キイス

No.83



1927年ニューヨーク生まれ。ブルックリン・カレッジで心理学を学んだ後、雑誌編集などの仕事を経てハイスクールの英語教師となる。このころから小説を書きはじめ、1959年に発表した中篇『アルジャーノンに花束を』でヒューゴ賞を受賞。1966年にはこれを長篇化した『アルジャーノンに花束を』でネビュラ賞を受賞した。その後、オハイオ大学で英語学と創作を教えるかたわら執筆活動を続け、『五番目のサリー』『24人のヒーロー』『リカン』などを発表。教職を退いた後は、フロリダ州ホカトンでフルタイムの作家生活を送っていたが、2014年フロリダの自宅で死去。86歳没。

この作品は随分昔に読んで深く心に残っていたので“今月の一冊”で紹介したいと思っはいたのですが、なかなか出来ずにいました。紹介する為にはもう一度読み返す必要があり、内容がとても重いので、読むのにはかなりのエネルギーがいるからです。それはちょうど、映画『レナードの朝』が大好きな作品なのに、観てしまうと心に一週間ほどはレナードが棲み付いて切なくなるのでなかなか観れないのと同じです。ところが、今山下智久主演でTBSでドラマが放映されているので、思い切って読み返してみました。ドラマは始まったばかりで、どういう演出になるのか不明ですが、作品はやはり素晴らしく心に響きます。うーこれは、1ヶ月は心にチャリイ(TVでは美人)が棲み付くな! 皆さんもドラマをご覧になって興味をもたれたら、是非本も読んでみて下さい。

32歳になっても幼児の知能しかないパン屋の店員チャーリー・ゴードン。そんな彼に、夢のような話が舞い込んだ。大学の偉い先生が頭をよくしてくれるというのだ。この申し出にとびついた彼は、白ネズミのアルジャーノンを競争相手に連日検査を受けることに。やがて手術によりチャーリーは天才に変身したが... 超知能を手に入れた青年は愛と憎しみ、喜びと孤独を通して人間の真実に迫り、全世界が涙した現代のバイブル。(早川書房文庫本裏表紙より)



トラのフログ、太陽開発のHP内で配信中です! 覗いてみて下さいネ!

